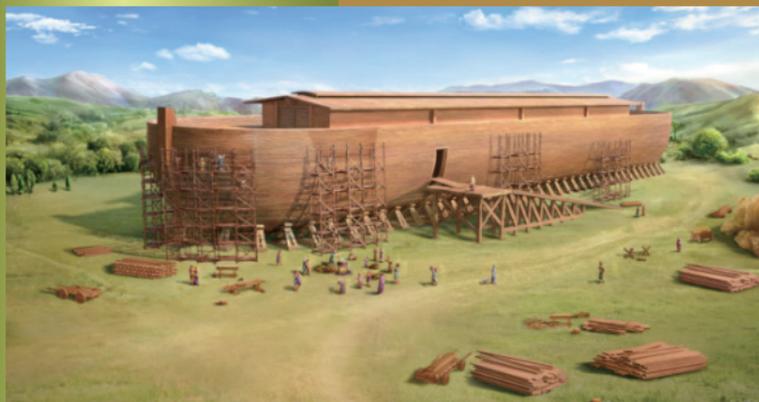


*Another ark*

もうひとつの箱船

Revival Booklet Series No.21



リバイバルシリーズ No.21

W.D.フラジー



SUNRISE MINISTRY



# もうひとつの箱舟

W・D・フラジー

イエスは「人の子の現れるのも、ちょうどノアの時のようであろう。」(マタイ 24:37) と言われました。神様はノアの使命と同じような使命を今日、世界にお与えになっていないでしょうか。神様はノアのような人をだれかこの世を警告するためにおつかわしになっておられないでしょうか。今夕この中にそのような人がいらっしゃらないでしょうか。ノアがつかわされた使命と同様の使命を果たすために神から選ばれた人がこの中におられたら、お手を示して下さいますか。ありがとうございます。何人かの人がこの事を知っていることをうれしく思います。他の方は今晚その召しを聞き、この使命に入って行かれることを望みます。実はこのノアの使命と同じ使命を伝えること以外に、今日私たちが生を受けた目的はないのです。

しかし今夕の話の主題はノアの「説教」ではあ

りません。主題はノアの「箱舟造り」です。

「信仰によって、ノアはまだ見ていない事から  
について御告げを受け、恐れかしくみつ、そ  
の家族を救うために箱舟を造」った。(ヘブル  
11:7)

ノアは説教しただけではなく、働きました。彼  
は手ずから働いたのです。彼は大きな木を切り倒  
し、製材し、巨大な船を建造したのです。それは  
まったく大がかりな仕事でした。



神がノアに箱舟を  
造るように命じた目  
的は、来たるべき大  
洪水に備えて救出の  
手段、のがれの場を  
提供するためです  
た。この箱舟が造ら

れたことによって、実際洪水から救われた人々が  
いたでしょうか。いました。事実、救われた人々  
はすべてこのノアの箱舟造りの結果だったので

す。

友よ、御存知のように今日の世界はノアの時代と同様、来たるべきことに対して準備ができていません。ノアの時代に人々は食い、飲み、植え、建て、めとり、とつぎなどをしていました。今日、この国（アメリカ）でも歴史上なかったほどの贅沢、放縦がなされています。ノアの時代と同様です。

近頃（アメリカでは）労働組合の問題が大きく浮かびあがってきています。しばらく前、労働運動の二大勢力が一つの組織に統合されました。この時、私たちは、証の書を読み直して言いました。「これはアメリカの歴史にとって、又、世界にとって何かを意味する出来事だ。小さな問題ではない。千三百万人もの労働者を一大組織に融合させてしまったこの『政治的権力』…。かつてなかったことがらが生じる可能性がある」と。

これによって将来何が起こるかを預言するのに私たちはそれほど深く考えなくてもよいのです。

私たちには天からの特別な光が与えられていて、迫害、日曜休業令、黙示録 13 章の不売買同盟などはいずれも主としてこの労働組合を通してひき起こされることを知っているからです。（詳しくお知りになりたい方は、セレクトッドメッセージ第 2 巻をお読み下さい。）とにかく私たちはこの巨大な新しい勢力、AFL、CIO（米国労働総同盟産別会議）が舞台に上がり、その結果が現れているのを見はじめています。政治面、経済面にその影響を及ぼしつつあるのです。

60 年前（著者当時から）主の使命者はすべての大都市が同盟と連合によって一つに結束される時が来ることを指摘しました。この組織に入らない人々の生活は危うくなるのです。そしてこのような連合組織がノアの時代にもあったと彼女は言っています。ですからノアもこれと同じ問題に直面したのです。しかし神の指示に従ってすべての困難を無事に切りぬけたのです。

さて、はたして今日の私たちにも箱舟が必要でしょうか。イエス様の再臨に際し、私たちはすべ

ての危険をまぬがれ、天にあげられることを知っています。私たちは地上を離れて天にのぼってゆくのです。この時の経験のためには箱舟を必要としません。

「大いなる悩みの時」がやってきます。それは(恩恵期間の閉じられた後) 七つの災いがふる時で、その時神の民は山のほら穴や岩かげにいます。私たちはその時どうやって生活するのでしょうか。そうです。天使が私たちに養ってくれるのです。「初代文集」127 ページにそのことが書かれています。しかし私の今日の主題はこの時期のことではありません。再臨のとき、いかに私たちが地から上げられるか、又、恐ろしい悩みの時、いかに私たちが守られるかは皆理解し、はっきりしているところだと思います。しかしその前に、恩恵期間の閉じられる前に「小さな悩みの時」と呼ばれる時があり、その時、日曜休業令の発布に伴う危機と迫害の時期があるのです。

黙示録 13 章からこの時の事を読んでみましょう。合衆国を象徴している子羊の二つの角をもつ

獣について16節にこう説明してあります。「また、(その獣は) 小き者にも、大なる者にも、富める者にも、貧しき者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々に、その右の手あるいは額に刻印を押させ」た。

あなたはこの刻印を受けますか。もちろん受けませんね。それではあなたはどうなるでしょうか。17節「この刻印のない者はみな、物を買うことも売ることもできないようにした。この刻印は、その獣の名、または、その名の数字のことである。」あなたは刻印を受けませんね。神様もそれを受けないようと、14章で言っています。もし受けるならば、神の怒りのぶどう酒を飲むことになります。15章2節ではヨハネは、天で獣とその像とその名の数字にうち勝った人々を見たと言っています。この人々は刻印を受けなかった人々でした。

さて、ここで一つ質問があります。恩恵期間の閉じられる前に食料を買うことのできない時代が来るとしたならば、その後(恩恵期間の後)ほら

穴などにいる時に天使が養ってくれる約束は意味をなすでしょうか。その前に飢えて死んでしまったらどうなるのでしょうか。これは現実的な問題です。

洪水の彼方には虹がありました。しかし、雨が降り始めた時、第一に考えなくてはならなかったことは、どのようにこの洪水をのりきるかということでした。まさに今日、あらしが襲ってこようとしています。しかし、多くの人々は、はたしてどのようにそれからのがれるかということを考えていません。そして心配なことは、ある人々は「なに、神様がその時は何とかして助けて下さる。養ってくださるよ。」と考えていることです。この人たちは、災いのふりかかる「大いなる悩みの時」に私たちが助けられる方法でもって「小さな悩みの時」も助けてもらえるだろうと期待しているのです。

ノアが警告を発しに世に出てきて言います。「みなさん、大洪水が来ますから準備をして下さい！」その時人々が質問します、「どうしたらいいんだ。

何をしたらいいんだ。」この時ノアがこう答えたらどうでしょう。「心配はいりません。神様が何とかして助けて下さいますよ。」と。

また、ノアが息子たちにこう言ったらどうでしょう。「箱舟を造っている暇などありません。出て行って人々に洪水の来ることを知らせるのが第一だからです。」これはあまり論理的ではありませんね。又、忠実さを欠いてもいます。

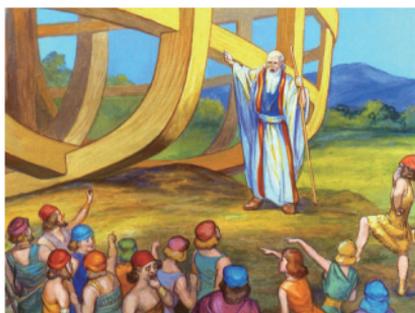
洪水が来るとノアに告げたのは神様でした。それを人々に知らせなさいと言ったのも神様でした。しかし、神様は又、「箱舟を造りなさい」ともお命じになったのです。ノアは宣べ伝えたことを実践すべきであり、実践したことを宣べ伝えるべきでした。この二つのことは切り離せませんでした。

「生き残る人々」78 ページにすばらしい文章があります。

「彼はただ説教するばかりでなく、箱舟の建造という手本を通して自分の説教していることを自ら

信じていることを、すべての人々に確信させねばならなかった。…箱舟のつち音の一つ一つが民に対する説教であった。人々が驚きあきれて彼を見、狂人呼ばわりしている中で、彼は指揮し、説教し、働いた。」

このようにノアは声と共につちでも説教したのです。



さて、神様は私たちにも、来たるべき迫害のあらしのことを人々に警告すると同時に、つち打つ仕事を与えてはおられないでしょうか。何百万人もの人々が神の印と獣の刻印との選択にせまられる時のための、そして恐ろしいボイコットに備えるための実際的な仕事がないでしょうか。私はこれに対する解答の一つをセレクトドメッセージ第2巻141ページに見つけました。主の使命者は言います。

「労働組合の支配力が非常に圧政的になる時が目前に近づいています。くり返しくり返し主は『我

が民が家族を都市から連れ出し、いなかに行き、そこで家族のため自ら食料を作るようにしなさい。なぜなら将来売り買いの問題が非常に深刻になるからです』と教えられました。」

こんなにも平易な、だれでも理解できる言葉で書かれてあることを感謝します。最後の文から見ていきましょう。

「売り買いの問題が非常に深刻になるからです。」

私たちは物を売買できなくなるのです。獣の刻印を押されない限り…。聖書もそう言っています。そしてこの本（2SM）の142ページにはこれには労働組合が深く関係してくると書かれてあります。

それでは次にこれに対して私たちはどうすべきだと靈感は言っていますか。都市を出なさい、いなかへ行きなさい、引越せよ、と言っているのです。それからいなかで何をせよと言っていますか。家族のために自分で食料を、作物をつくりなさいと言っています。

「医事伝道」(MedicalMinistry)の310ページに、  
こう書かれています。

「都市に住む両親方に対し、主は警告の叫びをあげておられます。子供たちを家の中に集めなさい。できるかぎり急いで都市から出なさい。両親方は、耕す土地があり、そこで果樹園を持ち、野菜や小さな果物をつくることのできるいなかに、小さな家を見つけることができます。神様は、神の民がそのような家を都市の外に見つけることができるように助けて下さいます。…できるだけ遠くに、私たちの機関は都市から離れて設立されるべきです。…神の民が都市の中に住むのは神のみこころではありません。…主は、主の民がいなかに引越し、そこで彼らが土地を持ち、自分で果物や野菜を作ることができるように望んでおられます。」

おわかりですか。これが、主が初期の悩みの時を通りすごすことができるようにと、私たちのために計画されたことなのです。これが、売りも買ってもできない時、食料を確保することができるように主が計画された手段なのです。都市での私たちの生活が危うくなった時の、のがれの場なのです。

神様は終りの時の三つの異なった期間において三つの異なった方法で、私たちを助けて下さるのです。一番最後の時には、神様は私たちを直接地上から引き上げて救ってくれます。その前の大いなる悩みの時には、天使をつかわして私たちを養い、救ってくれます。そして、最初の小さな悩みの時には、自分で土地から作物を得るように計画して下さったのです。

ここに「ナッシュビル農業師範学校」という小冊子があります。(この学校はマジソンカレッジの前進) W・C・ホワイト長老編集、1908年パシフィックプレス発行のこの本の11ページでマガン教授は次のように述べています。

「はじめ我々は学校農場が広すぎるように感じた。我々が最初に自分たちで計画した理想としての農場は、モデルとして小ぎれいに秩序正しく保つことができるように、小さいものにするべきだと考えていた。…我々がホワイト夫人にその農場の広さについて異議を申したところ、彼女はこう答えたのです。『現在都市に住んでいる多くの人

たちが、真理に立って生きるために都市を去ることを余儀なくされる時が来ます。その時のために私たちはこの農場を『のがれの場』としなくてはなりません。これらの人々が幾人かはここでしばらくとどまり、農業で生活を立てる方法を教えられるのです。そうして彼らはいなかへ出て行く励ましを与えられ、土地を見つけ家を建て、そこで神の戒めに調和した教育を子供に授けることが出来るのです。』

友よ、これが私たちの造るべき箱舟です。嵐が突発し、日曜休業令が通過し、労働組合がその強制力で圧力運動をつづけ、大いなる叫びが与えられ、聖徒らがソドムからの脱出の足を速める時、彼らは「のがれの町」を必要とするのです。これらの愛する兄弟のために箱舟を造ろうではありませんか！

一つ質問があります。いったいこの「小さな悩みの時」はどのくらい続くのでしょうか。二、三日または数週間でしょうか。それ以上ですね。二、三日ではにんじんも育てることが出来ません。さ

つまいもは数か月かかります。いちごや他の小さな果物はさらに時を必要とします。

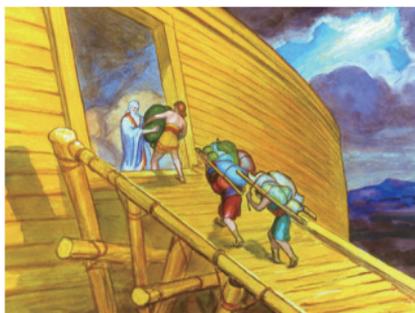
ノアの使命は实际的です。私たちがそのことを理解するように神様は望んでおられます。私たちが片手に聖書を持つならば、もう片方の手につちを、あるいはくわを持つように望んでおられます。友よ、私たちはそれらすべての使い方を熟知しておくべきではないでしょうか。聖書も、くわも、つちも！これが「農場をのがれの場とし、幾人かがそこにしばらくとどまり、農業で生活を立てる方法を教えられる」ための唯一の方法なのです。

「のがれの場所」…もしだれものがれて来る人がいないならば、「のがれの場」を作りなさいと主は言われなかったことでしょう。私たちは何をすることも、このこと…のがれて来る人、避難者がやってくること…を覚えてしなくてはなりません。人々は避難してきます。迎える準備のあるなしにかかわらず、人々はやって来ます。神様はそれを知っています。

大きな象が二頭、箱舟の渡し板をのぼっていきます。セム、ハム、ヤペテにとって、それはなんという感動的な場面だったことでしょう。ノアが言うのが聞こえます。「子供たちよ、象が来たよ！」子供たちは答えます。「ええ、ちゃんとかっちに…さあ、おまえたちはここに入りなさい。」

さて、そこには何があったのでしょうか、象を待っていたものは何だったのでしょうか。もちろん草でした。そうです、そこには干草があったのです。箱舟の中には動物たちのために食料が貯えてあったのです。動物たちもそれを期待していました。皆さん、おわかりですか。

避難者があなたのもとに来る時、そのための場所があるでしょうか。その時あなたの畑に、倉庫に、貯えがあるでしょうか。



それともあなたはこう言わなくてはならないでしょうか。「本当に申し訳ありません。うちに

はだれもお留めする場所がありません。養ってあげられる用意もないんです。」

用意しましょう！避難者はやって来ます！すべてを知るお方がそう言っておられます。

さて、一つ注意したいのは、ただ単にいなかで生活するだけでこの問題がすべて解決するのではない、ということです。避難者たちは都市を脱出して、いなかにあるこれらの農場に入って来ます。なにしろ彼らは深刻な問題にぶつかったからです。なにしろ買うことができなくなったのです。売ることさえもできないのです。

町へ食料を買いに行っている私たちの小さな青いトラックのことを考えてみましょう。もし、この供給が途絶えてしまったら私たちはどうなるでしょうか。これは私たちの将来当面する問題です。養うべき人は大勢います。しかし、トラックに積むべき必要物資を売ってくれる場所がなくなるのです。

「では、私たちは今から町で買い物をすべきで

はない。」ということが正しい解答ではありません。まだ悩みの時は来ていません。しかし、買い物リストを作った時「もしこれらの品物が買えなくなったら、私はどうすべきでしょう。」としばし考えてみることは現実的なことではないでしょうか。これも箱舟造りの一部です。避難者のために家を建てるだけでなく、それは野菜を作り、いちごの苗をつくり、とうもろこしやさつまいものうねを立てることも含まれているのです。そして、それは単に自分たちの食料を得るためばかりでなく、おとずれる人々に教えることができるように、自ら作り方を学ぶためです。ある人々は教わることを必要とするのではないのでしょうか。

ある朝、校長があなたのところへ来て言ったとします。「昨晚シカゴからの避難者がここに着きました。その中にスミスさんという人がいますが、彼は工場で働いていた人で農業に関しては何もわかりません。すまないけれど、彼にどうやって農業で生活を立てるかを教えてあげてくれませんか。」

あなたはどうか答えますか。「困りました…どうか農業部の主任のところへ彼を連れて行って下さい。私も作物のつくり方については何も知らないんです。もっぱら食べるだけで…。」

箱舟を造りましょう！製材機を運転させましょう。先日、ジエンセン先生が丘の上に建てたような質素な家を…質素で快適で、人々を一、二家族分余計に住まわせることのできる家を…。

私たちがこの今夕聞いているような勧告に従うには信仰が必要です。ノアの時代にも、手遅れになってしまってからノアの言ったことが真実だと納得した人々が何百万人といたのです。手遅れになる前に箱舟を造り始めるように、ここにいる私たちに聖霊が働いて下さったことを感謝しています。

しかし、私たちはどんな箱舟を造っているのでしょうか。設計図と指示をどこから得ているのでしょうか。完成した姿はどのようなものになるのでしょうか。「医事伝道」の中にその全体像を見

ることができます。308、309 ページです。「箱舟」は神がその民にすべての都市の外に建てさせようとしておられる、小さな一つのまとまったプログラムなのです。農場があり、その農場の中には学校があり、それに小さな療養所が併設され、伝道センターがある。すべてが結合しています。

そして神はこのような機関だけでなく、すべての「家庭」が「のがれの場」となるように召しておられます。ミニストリー オブ ヒーリング 167 ~ 169 ページをお読み下さい。農夫の人々、あなたになすべき仕事があります。大工さん、整備工の人たち、又、料理、繕い、看護の方法を知っている婦人がた、すべての人にはなすべき仕事があります。神様があなたの心に働きかけ、来たるべき危機に備えてあなたの家庭をのがれの場所となす決心ができますように。

第二次大戦中、すべての脱出の道がふさがれた連合軍がどのようにダンケルクの港を抜け出したか覚えていますか。巨大な戦艦が火に囲まれ、数千の人々の運命が危機にひんしました。神様はこ

の時、これらの人々のために命の箱舟を用意して下さったのです。イギリスの小さなヨットや漁船です。ある舟は十人、あるヨットは五十人、あらゆる型、大きさ速さの舟がそこにあったのです。これら小さなボートが霧の中をただよいました。そして、一軍隊全員を運び、その命を救ったのです。数百ものボートが。

けれどもこれらの舟は危機が到来した時、そこに用意されていなければなりませんでした。しかも航海に堪えうるもので、燃料が積まれ、救助のための設備がなされていなくてはなりませんでした。この準備には相当の費用がいったはずです。

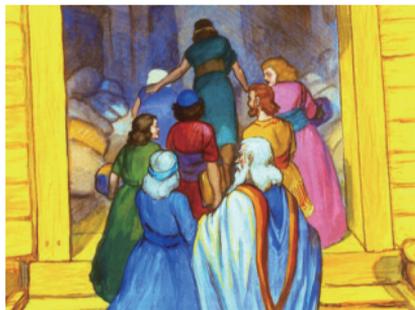
ノアも箱舟造りに費用をかけたでしょうか。「人類のあけぼの」92ページを読んでみましょう。

「彼は、神が仰せになったことを、そのまま信じる模範を世に示した。彼は、全財産を箱舟につきこんだ。」

いくらつきこみましたか。「全財産」です。ノアが家族を集めてこう言った時があったにちがいない。

ありません。「みんなよく聞いて下さい。くぎを買うためについに最後のお金を銀行から引き出さなくてはならなくなりました。」と。彼は全財産を箱舟に投資したのです。

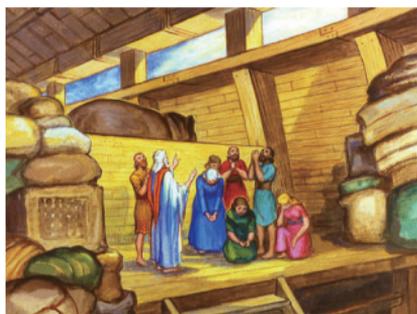
家具も、じゅうたんも、家も、土地も…、持ち物すべてをはたいたのです。当時の人々は彼を「宗教にこりすぎた」きちが



いだと思いました。しかし雨が降ってきて水かさが増し、人々が絶望の叫び声をあげながら紙幣をばらまいている時、ノアは自分のお札を一枚として失いませんでした。それが波にただようのを見て悲しむことはありませんでした。洪水によってノアが失ったものは何一つありませんでした。どうしてそれがわかるでしょう。今、読みましたね。「彼は全財産を箱舟につぎこんだ。」そしてノア自身もその中にいたのです。全財産と共に！

さあ、財産すべてをかけて箱舟造りに専念しま

しょう。御計画に従って材料をそろえましょう。神様は必ず助けて下さいます。神様にこう言いましょう。「神様は、私は箱舟造りを手伝いたいと思います。しかし私は自分のことやどうやって逃げるかを心配してそう言っているのではありません。ただ箱舟へのがれて来る人々、少しの間のがれ場を見つけなければならない人々のためにそれをしたいのです。」と。



あなたがそう言って、そして、それを実行するならば、他人を救うために造ったあなたの箱舟が、あなたを、あなたの家族自身を救うために用いられる神の箱舟となることを発見するでしょう。ちょうどノアのように。

これは、アメリカの自給伝道機関「ワイルドウッド学園」におけるベスパーでの、W・D・フラジー長老の話を収録、翻訳したものです。

## ※参考資料

.....

1. 我々はニューヨーク市の近くに療養所と学校が必要です。これを確保することが長びけば、それだけ手に入れることが困難になります。

都市の外に働き人の住居としての場所を手に入れることができるなら幸いです。彼らがすべての汚れから逃れて、新鮮な水の利にあずかることは非常に重要なことです。そのような理由により、丘陵地帯の利点を考慮することがしばしば必要です。又、そこには、それらの働き人のために、果物や野菜が作れる土地があるべきです。できるかぎり健康的な場所に伝道の本部があるように、又、そこに小さな療養所が併設されるようにしなさい。(MM 308)

2. 神の民がこの世の財産に心をひかれて、これを貯える時間はもうない。初代の弟子たちの様に、荒れ果てたさびしい場所に隠れ家を求めねばならない時は、それほど遠くない。ローマ軍によるエルサレムの包囲がユダヤのクリスチャンにとって逃げる合図であった様に、法王制の安息日を強制する法令が我が国において施行されることは、わたしたちにとっ

て警告となる。その時はまず大都市を離れる時で、それは又比較的小さな都会を離れ、そして人里離れた山の中の引込んだところに住まいを求める準備となる。わたしたちは、この世に高価な住まいを求めないで、もっとよい国、天国へ移る準備をしなければならぬ。(5T 462～465)

3. 我々は民として神がゆだねられた働きを完成していない。我々は日曜休業令がもたらす結果に対し、準備ができていない。危機が近づいている兆を見ているのであるから、立ち上がって実行するのが我々の義務である。この働きは預言されているのだから進展するにちがいないとか、主はその民を保護して下さるなどと思い込んで安閑とすわっている者がないようにしよう。良心の自由を保つための努力を何もせずに、じっとすわっているだけなら、神のみこころを行っていることにはならない。長い間おろそかにされていた御業を完成することができるまで、この災難が延ばされる様、熱心な効果的な祈りが天にのぼっていかねばならない。もっと熱心に祈ろう。そしてその祈りと調和した働きをしよう。なおも神の民に猶予が与えられているのは、目覚めさせ、光

を輝かさせるためである。(5T 713)

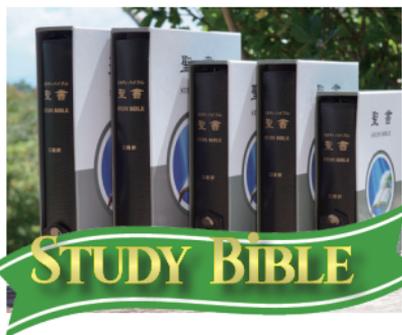
4. 間もなく都会には争いと混乱が起り、都会を離れようと思ってもできなくなる時がくるであろう。我々はこれらの事件に備えなければならない。これが私に与えられた光である。(2SM 142)
  
5. 日曜遵守に関して間もなく危機が襲って来る。…もし神の摂理によって都会から離れた場所が得られるならば、神は我々がそこに住むように望んでおられる。我々の前には悩みの時がある。(5T 463)
  
6. 平和と繁栄の時になし得なかった働きを、教会は最も失望的な不利な状況のなかでしなければならぬであろう。(5T 463)
  
7. どんな値段でも売れない時がくる。獣の刻印を持っている者以外はどんな人であっても、売ったり買っ

たりすることが禁じられる法令が発布されるであろう。(5T 152)

8. 最後のサタンとの大争闘において、神に忠実である人々は、この地上のすべての支えが断ち切られるのを見るであろう。なぜなら、彼らは神の律法を破ってまでも地上の権力に服従することを拒み、売ったり買ったりするのを禁じられるからである。(希上 132)



もっと詳しく研究なされたい方のために...



## スタディバイブル

口語訳・注  
解・脚注引照付き・  
地図チャート・聖  
句索引

¥8,000～

色はすべて黒で本革を使用

宇宙の謎、地球の謎、人生の謎に真実の解決を与えるのは聖書だけです。スタディバイブルは自分で研究できるように編集されています。

お問い合わせ、お申込みは下記の連絡先まで

もうひとつの箱船 - リバイバルシリーズ -

※頒布価格 100 円

発行 令和 2 年 4 月 23 日

著者 W. D. フラジー

発行所 サンライズミニストリー

〒 905-0428

沖縄県国頭郡今帰仁村今泊 1471

電話 0980-56-2783

FAX 0980-56-2881

Email [info@sunriseministry.com](mailto:info@sunriseministry.com)

[www.sunriseministry.com](http://www.sunriseministry.com)





# リバイバル小冊子シリーズ

---

No.1 安息日問答

No.2 アピール

No.3 装身具について

No.4 狭き道の旅

No.5 リバイバルと改革

No.6 神の聖安息日の遵守

No.7 今

No.8 終末時代における霊の賜物

No.9 小さな光と大きな光

No.10 預言の霊に関する指導原理

No.11 サタンのわな

No.12 人類が直面している世界情勢

No.13 田舎の生活

No.14 十戒

No.15 主のぶどう園

No.16 背教のアルファ

No.17 終わりの時に備えよ

No.18 どのようにして安息日を守るのか

No.19 キリスト論

No.20 救いの確証

No.21 もうひとつの箱船

